

# 住民懇談会 結果報告 (春季)

平成27年度春季住民懇談会  
が7月1日(水)から7月10日(金)  
までの期間、市内7会場で行わ  
れました。

今回は、菊島市長にとって初  
の懇談会となることから、市長  
の所信表明を中心に、今年度の  
施策の概要と、本年3月に策定  
した「子ども・子育て支援計画」  
について説明させていただき  
ました。市民の皆様は、新市長  
と直接話ができる機会とあつ  
て関心が高く、活発な意見交換  
が行われました。

その他、地方創生に関する政  
策提言となるご意見や、提言の  
提出方法に関するお問合せを



伊藤副市長



**Q** 福栄地区の建替えは当初20カ年計画だったが、今後も計画どおり建てていけるか。

**A** 平成10年度の着手ですが、現在の計画は平成43年度までに383戸を建てる計画です。平成30年度までに12号棟までと考えていますが、国の補助金配分により変更もあり得ます。

**Q** 高齢単身者向けの住宅を建て、孤独死防止等の対応をしてほしい。

**A** 市長の所信表明にあるように、サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)建設について検討したいと思います。

**Q** 団地の除雪が難しい住民が増えてきたので、シルバーハウジングを建ててほしい。

**A** 他市町村に比べてシルバーハウジングの戸数は多く、公的住宅の比率も高いことから、建設は難しいと思います。サ高住建設を検討します。

**Q** アンテナショップ(AKA B I R A ベース)の品揃えが少ない。

**A** 今後とも特産品や農産品の充実を図っていきます。利用者のうち8割近くは市外の方で、多くは市内施設やドラマのロケ地に向かうようです。

**Q** 共同型墓地(合葬墓の形式)を赤平にもつくってほしい。

**A** 今年度、身寄りのない方々の墓地について研究することとなっており、この件も含めて検討したいと思います。

**Q** 町内会館の除雪費用について。市からの補助金は、町内会館5万円、寿の家3万円となっている。寿の家を町内会館として使っている実態があるので補助金に差をつけないでほしい。

**A** 一定地域ではなく市内全体の課題として、今年の冬までに内容を検討したいと思います。

**Q** ドラマ放映やギネス記録達成のおかげで赤平市の認知度が上がったと思うが、それをもっと活用すべき。

**A** おかげさまでドラマをきっかけにして赤平を訪れる方や、ふるさと納税をされる方が増えています。もっと活用したいところですが、ドラマやギネス記録にはさまざまな制限があるので、前面に打ち出すのは難しいところでもあります。

**Q** 移住プロモーション動画製作について、とても良いと思う。赤平の魅力を発信してほしい。市民だけでなく、外部からの目線が必要と考える。

**A** 移住・定住者向けの動画ですが、そのみの活用ではもったいないので、他の用途にも使えるよう、さまざまなパターンのものを準備したいと思います。

いただきました。また、「赤平市まち・ひと・しごと創生総合戦略みらい部会や若い世代の意見に期待を寄せる声も聞かれました。(地方創生に関する詳細は本紙2〜3ページ参照)」。主な内容について記載しています。今後、こうしたご意見を参考に、市政に反映してまいります。



菊島市長



多田教育長

**Q** 災害対策基本法の対応による避難支援が必要な方の名簿の作成について、町内会に協力依頼があったが、対象者の個人情報保護との関係で協力できない事柄が多い。

**A** 道内の先進的な取組をしている市町村の事例を調査したいと思います。

**Q** 災害対策基本法の対応による避難支援が必要な方の名簿の作成について、対象が要介護認定者、障がい者及び難病患者となっているが、本人の同意が取れるならば、75歳以上の方も対象にしたら良いと思う。

**A** 75歳以上の方の把握は可能なので、十分に検討したいと思います。

**Q** あかびらガンバレ応援寄附金(ふるさと納税)の返礼品について、品目を増やしたり、包装紙の絵を赤平ゆかりの方に描いてもらったりしてはどうか。

**A** 6月にお米、革製品、肉、木製品などでスタートし、8月にはスーツケースや数の子など、新しい品物も増やして充実を図ります。始まって1カ月ほどですが、すでに昨年度の寄附金総額と同等の寄附を受けていて、好評をいただいています。包装紙も検討したいと思います。

**Q** 電気を北電以外とも契約しているという自治体があると聞いたが、赤平市ではそのような考えはないのか。

**A** 電気は安定供給が条件です。今後は他市町村の事例を含めて検討したいと思います。

**Q** 市内の多くのごみステーションが古くなって傷んでいる。過去に市で助成していたが現在はどうか。

**A** ごみステーションが古くなっているのは認識しています。検討したいと思います。

**Q** 自らの敷地にごみを放置している人がいるが、どのように考えているか。

**A** 私有地の場合、市はごみと思われるものでも簡単に処分することはできませんが、除雪や衛生面で見過ごせない状況のものは、関係機関と連携をとって迅速に対応したいと思います。

**Q** 地域との連携を図るために、学校の先生は赤平に住み、地域の行事に積極的に顔を出すべきと考える。

**A** 管理職を含めて20数名が市内に住んでいます。先生には市内居住を呼びかけていますが、共働き世帯の増加や近隣に持ち家があるなどの理由で難しい面があります。

**Q** 赤平高校が閉校になり、統合中学校はいつできるのか。

**A** 平成28年度に赤平高校校舎を解体し、平成30年度には新校舎で統合中学校をスタートさせたいと思います。

**Q** 赤平高校を解体すると聞いているが、新校舎の建設はかなりの負担になるのではないか。今の校舎を活用できないか。

**A** 現校舎の活用も検討しましたが、文科省の耐震基準に満たないことや今後の維持・修繕費を考えると、新築の方が経済的と判断しました。

**Q** 市立病院の医師確保は、今後どうなるのか。

**A** 8月より常勤の医師1名が来ます。全国的に医師の数は増えていますが、都市部に集中してしまう傾向が続いています。医師確保に向けて引続き努力し、最低限もう1名の常勤医はほしいと思っています。お知り合いがいましたら声かけをお願いします。